

# えんがわ

第73号

2013年4月発行

発行元  
衣笠病院グループ  
横須賀市小矢部  
2-23-1  
Tel 046-852-1182

## 我が家の 三人官女

三月三日は女の子の厄除けと成長を願う桃の節句（雛祭り）でした。当法人の各施設でも雛人形を飾り、一緒に写真撮影をしたり、利用者・入居者の健康を願った催しがありました。さて我が家には、雛人形が三組あります。え！！！三組も？と思われるでしょう。実は三人娘なんです。私の両親から、娘が生まれるたびに一組ずつ買ってもらいました。三女の誕生が迫った五月のことでした。父とデパートに行った際に端午の節句で兜や鯉のぼりが売っていました。私が鯉のぼりを買おうとした時に、父が「次は男の子か？」

と笑みを浮かべていたのを思い出します。しかしその鯉のぼりは、施設の飾りとして購入する物でした。父は次は男の子が産まれると期待をしていたようです。その娘達も両親の雛人形のおかげで健康で元気に成長しています。今では我が家自慢の「三人官女」、地元の「かしまし娘」となっています。

法人事務局  
事務局長 柳井 芳明



## えんがわ在宅 ひとくちメモ

### 地域連携の お仕事

地域連携の仕事を一言で言えば“地域で診療をしている先生方と衣笠病院を繋ぎ、患者さんがスムーズで安心な診療を受けることが出来るように連携を図る”仕事とでも言いましょうか。ことばにすると簡単なようで実は奥が深いお仕事なのであります。地域の先生方からの受入れ要請や高度医療機器（MRI・CTなど）の予約、紹介状持参患者さんの受付、また衣笠病院から他院への転院等、地域連携に関わる業務は多様であり、窓口に来院される方もさまざまです。小さなお子さん、お年寄り、車椅子や松葉杖の方等、抱え

ていらつしやる病気や怪我也いろいろで、具合が悪くお話をするのも辛そうな方や、お話好きで病気になる経緯からお子さんやお孫さんのことまで詳しくお話してくださる方もいます。私達、地域連携の職員は関わる一人一人の患者さんに対し、その患者さんの背景にある家族や友人のことも考えながら、安心して衣笠病院を利用して頂けるように笑顔で絶やさず接するよう心がけています。先生方の間に挟まり、辛いことも多々ありますが、笑顔で頑張れるのは、患者さんから頂く「笑顔」と「ありがとう」の一言があるからです。

法人事務局 地域連携課  
課長 加藤 一頼

ファミリーストランで苺フェアを開催しており真っ先に苺パフェをたのんでしまう今日この頃です。